

対象国における課題

農家の貧困: 農業生産性が悪くギニアの農家の収入が低い。換金作物の営農と輸出市場の確立を支援する必要がある。

森林保全: 非効率な焼畑農業と家庭用燃料に使う薪炭材の調達を目的とした森林伐採が進んでいる。

提案製品・技術

アグロフォレストリによる持続的なカカオ農業の確立
発酵技術の普及によるカカオ豆の品質安定化
主に日本に向けたカカオ輸出バリューチェーンの構築
森林保全による環境価値の可視化によりチョコレート
製品の高付加価値化とパリ協定への貢献を実現

本事業の内容

- 契約期間: 2019年9月～2024年1月※延長2回
- 対象エリア: ギニア共和国ファラナ州キシドゥグ県
- 案件概要: 農家にアグロフォレストリによるカカオ栽培と発酵処理技術を指導。農家組合を組成し高品質カカオを日本や欧州向けバリューチェーンに乗せ、農家の収入向上を実現。森林保全による気候変動対策(カカオ農家コミュニティに効率かまどを頒布するCDM事業でパリ協定に貢献)を実現し、チョコレート製品のマーケティングに活用、更なる高付加価値化でグリーン資金を調達し、プロジェクトの持続性を高める。



フランスの展示会で評価を得た
ギニアZeina Cacao社と立花商店

課題へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

立花商店はSDGsのストーリーを背景に高付加価値化したギニア産カカオを日本や欧州の高級チョコレートメーカー等に販売、通常取引よりも高利益率を期待。兼松はSDGsへの期待を背景に気候変動対策プロジェクト(「効率かまどCDM事業」)の開発を行い、国連枠組みのカーボンクレジットから資金を獲得しプロジェクトの長期持続的な運営を目指す。

(事業名) PoA 10641 : The African Cookstoves Initiative Programme of Activities (スイスAllcot AGが登録した事業)

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

ギニア政府は輸出できる換金作物の産業化を目指しており、カカオは重要な政府支援品目である。本事業を通じて、ギニアにおけるカカオの産業化を目指す。AfDBもニジェール川流域で農業の気候変動対策としてギニアを含めた周辺国共同でアグロフォレストリ技術の普及を進めている。本プロジェクトはCDM事業によるカーボンクレジットを得て森林ギニア地方へカカオ案件を持続的に拡張する可能性が考えられる。